

令和3年8月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,446	152,481	152,500	152,378	△ 19	103
2 調定水量	m ³	668,748	3,270,711	3,214,500	3,240,321	56,211	30,390
3 調定料金(税抜)	円	178,115,280	874,735,338	866,000,000	871,120,425	8,735,338	3,614,913
4 口振加入件数	件	25,105	125,697	—	125,624	—	73

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,589	92,917	91,600	91,476	1,317	1,441
6 調定水量	m ³	404,072	1,978,232	1,931,500	1,946,454	46,732	31,778
7 調定料金(税抜)	円	63,660,359	312,635,414	304,222,000	307,311,310	8,413,414	5,324,104

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,620	—	77,426	△ 806
9 給水件数	件	30,314	—	30,328	△ 14
10 開栓処理件数	件	170	1,384	1,412	△ 28
11 閉栓処理件数	件	195	1,252	1,232	20
12 給水工事設計審査	件	27	218	303	△ 85
13 給水工事竣工検査	件	30	280	422	△ 142
14 経年メーター交換	件	258	1,462	2,392	△ 930
15 メーター口径変更	件	6	33	21	12
16 督促状発送数	件	1,395	6,722	6,700	22
17 月末停止件数	件	84	—	107	△ 23

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	26	171	168	3
19 排水設備工事完了検査	件	20	130	156	△ 26

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	204,158,942円	78.79%	200,767,431円	79.05%
21 過年度分	4,599,254円	97.62%	5,004,454円	97.38%
22 計	208,758,196円	-	205,771,885円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	86,714,467円	74.78%	84,293,824円	75.07%
24 過年度分	850,830円	98.93%	1,083,264円	98.59%
25 計	87,565,297円	-	85,377,088円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	6,683,670円	80.92%	10,860,730円	72.73%
27 過年度分	2,401,300円	10.03%	3,664,230円	10.76%
28 計	9,084,970円	-	14,524,960円	-

特記事項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は195,927千円(税込)で、前月期に比べて5,243千円の増、対前年同月比では3,758千円の増となり、営業収益は196,334千円、営業外収益は事務手数料など5,103千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など79,135千円、営業外費用は、企業債利息として28,712千円、特別損失は88千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、補償金及び加入金で5,997千円を執行しました。支出は、職員給与費などを含む事務費や機器整備費及び企業債償還金として157,486千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は70,026千円(税込)で、前月期に比べて1,726千円の増、対前年同月比では1,537千円の増となっています。営業収益は80,010千円、営業外収益は他会計補助金420,000千円などを含む422,976千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など73,030千円、営業外費用は企業債利息36,742千円、特別損失は過年度還付として27千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、他会計出資金並びに受益者分担金及び負担金で264,644千円を執行しました。

支出は、工事請負費や災害復旧費などの建設改良費12,307千円及び企業債償還金として128,880千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 総務企画常任委員会の開催について

8月5日(木)に総務企画常任委員会が開催され、上下水道施設の現地調査を行いました。

将来にわたり安全な水道水を安定的に提供するため、再構築を予定している保呂羽浄水場、施設の改修を予定している佐沼環境浄化センターの状況等について現地調査を行いました。

委員の皆さんからは各施設の耐震化の状況、災害時における停電時の対応及び市内の水洗化の状況等について質問を頂きました。



【施設説明を行っている様子】

(2) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、第三者による評価を実施する外部評価委員会を設置しており、8月26日(木)に料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。

委員会は、学識経験者や上下水道事業運営審議会委員等5名で組織されています。

今回の委員会では、委員長、副委員長の選出ののち、受託者から令和2年度における委託実施状況について説明を受け、評価を行いました。



【外部評価を行っている様子】

令和3年8月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	866,617	4,204,602	3,929,400	4,152,297	275,202	52,305
総配水量	809,694	3,927,683	3,658,670	3,858,319	269,013	69,364
1 有効水量	717,683	3,499,336	3,463,550	3,564,167	35,786	△ 64,831
(1) 有収水量	673,200	3,292,875	3,233,000	3,265,437	59,875	27,438
(2) 無収水量	44,483	206,461	230,550	298,730	△ 24,089	△ 92,269
2 無効水量	101,089	437,424	195,120	294,152	242,304	143,272
(1) 漏水量	100,802	435,650	192,000	293,406	243,650	142,244
(2) その他無効水量	287	1,774	3,120	746	△ 1,346	1,028
3 有収率	83.14%	83.84%	88.37%	84.63%	-4.53%	-0.79%

※ 当月期の最大配水量は、5日（木）に記録した【27,953m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	0	0	0	0	20,460	0.0%
浄水施設整備事業	6	57,420	1	5,346	0	0	52,074	9.3%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	15	530,250	0	22,312	611,078	47.5%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 緊急時対応訓練を実施

8月26日（木）、受託者が大萱沢浄水場で緊急時対応訓練を行いました。

これは大萱沢の原水濁度が上昇した際、予備水源である井戸への切り替え手順について訓練を行ったものです。

また、併せて停電時の自家発電装置の操作についても訓練を行いました。

今後も万が一の災害に備え、積極的に訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

2 沈殿池の清掃作業を実施

8月18日（水）、石越浄水場の沈殿池清掃作業を行いました。

沈殿池の堆積物が多くなると、水処理に影響が出るため、定期的に清掃を行うこととしています。

また同時に沈殿池の内面や可動部の点検も行っています。

この作業は年に3回行う予定です。



【清掃作業の様子】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	30	46.469
付属施設	0	0.000	
給水装置	45	31.636	
計	75	78.105	

【漏水調査結果：8月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約515,512円/日当たり

算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 78.105m³/h
78.105m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	275,045	1,372,014	1,362,463	9,551		1処理場
特定環境保全公共下水道	57,221	278,491	282,847	△ 4,356		3処理場
米谷・錦織処理区	12,195	59,998	64,466	△ 4,468		
豊里処理区	32,149	157,058	154,268	2,790		
津山処理区	12,877	61,435	64,113	△ 2,678		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	13,272	65,616	66,682	△ 1,066		
農業集落排水	115,829	584,045	604,752	△ 20,707		24処理場
迫地区	10,791	50,471	47,482	2,989		
東和地区	3,182	16,477	15,501	976		
中田地区	28,201	151,227	160,763	△ 9,537		
豊里地区	2,134	10,313	10,791	△ 478		
米山地区	51,356	254,490	269,018	△ 14,528		
南方地区	20,166	101,068	101,197	△ 129		R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	43,405	210,357	201,369	8,988		1,934基
合計	504,772	2,510,523	2,518,113	△ 7,590		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	554,183	4	102,202	0	8,369	443,612	20.0%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	0	0	0	0	16,390	0.0%
処理施設整備事業	88	414,549	28	48,061	11	20,805	345,683	16.6%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

特記事項

1 下水汚泥の放射性物質測定の実施

公共下水道処理施設4か所及び農業集落排水処理施設24か所から試料採取した汚泥について、放射性物質の測定を行いました。

この測定は、「平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に基づき、各処理施設から搬出される汚泥中の放射性物質濃度を測定するもので、今年度についても2回実施する予定です。今回1回目の測定を実施したところ、汚泥中からの放射性物質の検出はありませんでした。

2 汚水管渠築造工事着手

8月期、中田町宝江新井田地区汚水管渠築造工事に着手しました。この工事は、開削工法による管路（施工延長L=501.8m）、マンホール（10基）及び小型マンホール（3基）の整備を行うもので、令和4年1月の工事完了を予定しています。

○浄化槽整備事業受付状況
(8月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	61	19